



第**40** 号

2020年 慈英病院 広報誌

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します。

令和2年2月 電子カルテ導入へ!



快晴無風、2020年はまさに陽春を思わせるかのような穏やかな新年のスタートでした。今年はいよいよ東京オリンピック開催の年です。前回のオリンピック(1964年)でカラーテレビによる放送が始まりましたが、いまや4Kから8Kのスーパーハイビジョンテレビ時代に突入しようとしています。さらに今後もさまざまな分野においてイノベーションが加速するものと思われます。そんな中、医療分野でも国による情報化推進が図られており、当院でもこの2月に電子カルテシステムを導入する運びとなりました。このシステムの最大のメリットは、患者情報の共有化と業務効率アップ、さらに医療安全面の向上です。

このメリットを最大限に活かし、さらなる良質な医療を提供できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。なお、システム移行当初は、一時的に皆様に御迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 前田正存





当院の前を流れる後田川(うしろだがわ)は、以前は悪臭を放つ「くさい川」と呼ばれるほどのドブ川でしたが、昭和50年度から5ヶ年の歳月を費やし、暗渠化ならびにその上部を緑道公園として整備。高度処理水を利用したせせらぎ水路に生まれ変わり、昔のように清流が甦り、市民に親しまれる水と緑の憩いの空間となっています。

長さは、堀川町から小戸町に至る2350mで、緑道内は、ふれあいの森、四季の森、憩いの森、語らいの森の5つに分けられています。コブクロの小渕健太郎さんも学生時代通ったとされ、うたの歌詞にも出てくるこの道・・・。春の訪れが待ち遠しいところです。

(地域情報整備システム-Repis- 日本河川 流域再生ネットワーク JRRN より一部転載)

地域医療連携室のご案内



慈英病院は主に宮崎市内の急性期病院からリハビリテーション、指定難病の患 者様や、在宅復帰を目指す為の環境調整を目的とした患者様をご紹介いただいて います。また、近隣の診療所から患者様をご紹介いただき、速やかにご入院出来 るよう体制を整えております。

地域医療連携室ではご紹介頂く病院や診療所と密に連携し情報交換を重ね、患 者様が安心してスムーズに入院できるように日々努力しております。

患者様の状態は病気や治療の内容、体の動きや認知面等それぞれ違いますし、ご家族の要望や 患者様への想いもそれぞれ異なります。また、患者様やご家族にとって病院を変わって今後どう なるのか、どのような治療やリハビリを受けるのか、退院後の事や医療費はどうなるのか等、 様々な不安や心配事のご相談に応じております。

慈英病院の地域医療連携室には専従の看護師と医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が勤務 しております。入院する前から面談を行い退院までしっかり担当する事で、退院後も安心して在 宅療養が出来るように、入院中から地域の医療・介護関連の事業所や担当者の皆様と連携し、情 報交換を重ねております。

介護が大変で自宅生活が難しい場合等は、担当ケアマネージャーや地域包括支援センター等と 連携して、適切な生活の場(施設等)の確保や入所調整も行なっております。



➡退院前訪問₩

退院後は、病気により、これまでの生活が大きく 変わる方や不安を抱えている患者様、ご家族の方 が多くいらっしゃいます。退院前に実際に生活さ れるご自宅や施設へセラピストと同行し、退院後 も安心した生活が送れるよう支援しています。



















昨年11月に入職しました 中村 愛里 と申します。

犬が大好きで、2匹のチワワと一緒に

ቖらしています。

趣味は、ドライブ・世界遺産鑑賞

マイブームは、ホットヨガです。 これまでは、病院や施設で看護師

生活相談員として働いていました。

書者様やご家族、地域の皆様の お役に立てるよう頑張ります!





















書き初め

書き初めは、年のはじめに | 年の抱負や目標を書く正月行事ですが、起源はとても古く、平安時代の宮中行事に由来します。昔は現在と風習も異なっており、「元日の朝に初めて汲んだ水 (若水という)で墨を摺り、新年の恵方の方角に向かって詩歌を書く」というものでした。今年は、患者さん、ご家族、ご面会者に書いて頂きました。





幸多き一年で





クリスマス会







『きりんさんコンサート』を 開催しました月

今回はチェロ奏者の田中さんの協力もあり、電 子ピアノとの二重奏でした。

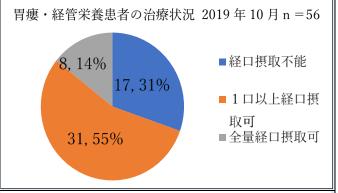
演奏だけでなくクリスマスにまつわる話や、ドリフターズの懐かしい映像をプロジェクターに映しました。誰に回ってくるか分からない早口言葉のレクリエーションも交え、笑いあり涙ありの印象深い時間となりました。



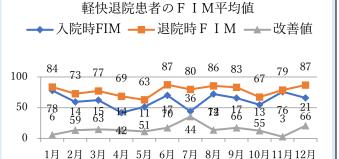
クリニカルインディケーター 2020年(令和2年)











家族教室開催のお知らせ



第22回 家族教室を開催いたします。

テーマは「**見て、触れて、体験しよう、福祉用具!**」です。 今回は、株式会社ケアサポートフェニックス様のご協力により、 福祉用具の展示および体験会を行います。**ふるってご参加ください**。

開催日時:3月22日(日) 14:00~15:30

会 場:当院 研修図書室・通所リハビリ室



^{医療法人社団 栄正} 慈 英 病 院

【診療科日】

内科・神経内科・リハビリテーション科 〒880-0853 宮崎市中西町 160番地 TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886 URL https://www.jiei.jp

編集委員

江藤裕子 小川登喜子 高瀬祐枝 清武充子 黒松和子 長友淳子 中村愛里 荒竹浩和 東洋一 日髙万明 松本めぐみ 宮脇奈津子